

実施体制

(下線：代表機関)

BRIDGEOVER (株)、日本モビリティ (株)、福山市、福山地区消防組合消防局

実証地域

広島県福山市

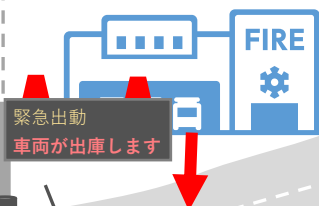
実証概要

- 緊急自動車の接近を音で検知する技術は、音の反射や周囲の騒音の影響を受けやすく、正確な位置や進行方向の特定が困難。2024年度の総務省実証では、公道走行中の緊急自動車の接近に対する音声検知率は約3割にとどまった例がある。
- 自動運転レベル4の実現に向けては、緊急自動車の接近をより正確かつ確実に把握できるシステムの構築が求められる。
- 本実証では、2024年度総務省実証で実施した緊急自動車の位置情報をクラウドに集約して自動運転車両へ提供するシステムに加え、運行ルート上の消防署に設置された緊急出動表示盤のON情報もクラウドに集約し、同様に自動運転車両へ提供することで、緊急自動車検知の正確性及び確実性の向上を図る。あわせて、クラウドに集約された**緊急自動車の検知情報を自動運転バスの制御まで一貫して連携**させるシステムを開発し、公道環境での動作検証を行う。

緊急自動車の検知と自動運転車両による自律的な安全停止の実現

- 本実証では、緊急自動車の位置情報と緊急出動表示盤の情報を組み合わせて活用し、自動運転車両に対して停止指示を100%の確実性で出すことを目標とする。
- また、その指示に基づき、自動運転車両が自律的に制御を行い、100%の確実性で安全に停止することも目標とする。

携帯通信網



サイレンがONとなった際に、GNSS受信機とジャイロセンサの情報から、緊急自動車（救急車、消防車）の位置（経度緯度）、速度、進行方向を算出



自律制御により安全に停車

緊急自動車の出動時に、緊急出動表示盤がONとなる情報

走行ルート

- 福山駅からエフピコアリーナを結ぶ幹線道路
- 経路上に福山南消防署、近辺に国立病院があり、緊急車両の出入りがある



出典：国土地理院 地理院タイル（淡色地図）

自動運転車両

- 株式会社日野自動車製 ポンチョ改造車両
- 乗車定員：31名(立ち乗り含)

